常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1210
編 集 部1269

大竹知事ら二日に來平

高柴ダム 港灣など現地視察

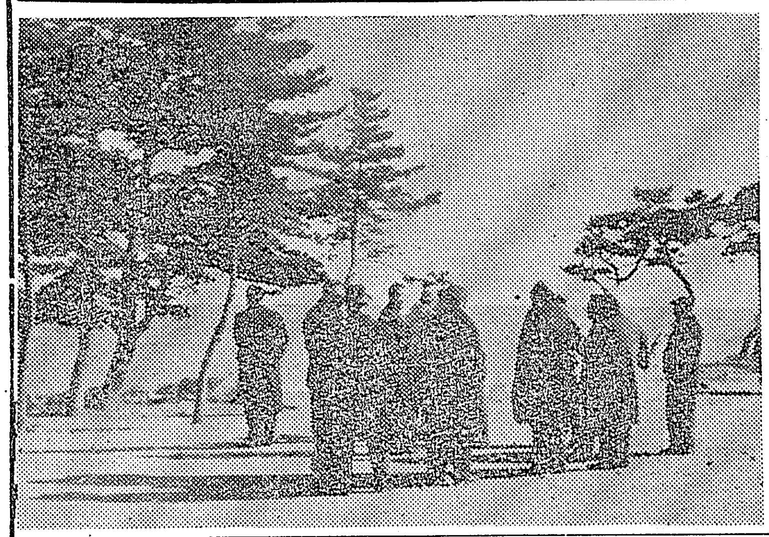
国では三十二年度の予算に高柴ダム、小名浜港湾施設、小名浜—新潟間産業道路などの予算を計上、来年度から常磐総合開発は槌音も高く工事に着手するが大竹知事ら県首脳部は三月二日来磐、常磐地区一帯を視察する。また総合開発の進展にともなつて相当数の工場誘致が見込まれているが、これとからんで現在平市にある労働会館再建問題についても関係者らと話合う予定になつている。

待望の常磐総合開発は高柴ダムが千二百万円、小名浜港湾が五千万円、小名浜—新潟間二号国道が一億九千万円、また常磐開発のエネルギーとして時代の脚光を浴びた天然ガスの採鉱奨励費も二千万円が決定、さらに鮫川水利開発は国が遅れている東北地区を開発する目的で設けた東北興業会社の手で第一期工事に来年度から足並みそろえて着手することになつたためその状況全般について視察することになつたもの。

労働會館も具体化

またこの開発でチタン、製紙、化学工場など多く工場誘致が見込まれているが、これら労働者の殿堂となる労働会館は現在平市にある、しかしこの会館も古くなつて使いものにならなくなつたためさきに炭砿労働者代表や関係者が県に対し補助を陳情していた問題についても同日話合う予定になつている。

常磐地区の事業所は約三千カ所ところが労働者があつまつて賃上げ協議などする場所は約三百坪の炭砿労働会館だけ、このため石城地区労が中心となつて会館建設促進委員会を結成して県に陳情していたもので、大竹知事はこの建設のため地元の有力会社から資金の調達をして一億円の会館をつくる構想を打出したもの。



予算獲得に努力

高木代議士 道路局長けさ歸京

建設省富樫道路局長及び高木松吉代議士一行は四倉、浪江間の弾丸道路六号国道の建設状況を視察のためきのう二十四日午後一時十一分平着常磐線下り急行で来平、平駅前から直ちに車で四倉—久野浜—広野—なら葉—富岡—双葉—浪江の道順で視察した。なお高木代議士は午後七時から宿舎甲陽館で在平記者団の質問に答え「今回の四倉—浪江間六号国道視察の目的は現在の予算に三千万円多く獲得するためのものである。富樫局長も現地をみてその必要性を深く感じたようであるからぜひ地元のようぼうにこたえるよう努力する」と語つた。なお一行は同夜甲陽館に一泊ののち二十五日午前六時四十三分平発上り列車で帰京した。（写真は久ノ浜波立地内で地元の説明を聞く一行）

更に六カ所

平の防火水槽

平市では三十一年度分としての防火水そう六カ所の建設を百八十五万円（うち国庫補助六十万円）で着工、近く完成することになつている。これで平市には二十五個となつたが、更に二十個程度を年次計かくとして増設することになつている。

この防火水そうは半径百五十メートル以内に住家三百戸以上あれば建設することになつているもので、今度新設された水そうは次の通り。

◆七軒町、工費三十五万五千円、二月末完成、四十立方◆北目、工費三十万五千円、一月末完成、四十立方◆高久字馬場、工費三十一万円、一月末完成四十立方◆豊間字塩場、工費三十一万円、一月末完成、四十立方◆豊間字合磯、工費三十一万円、二月末完成、四十立方◆夏井字藤間、工費三十一円、二月末完成、四十立方。

両親は行方不明

孝夫ちゃん保護さる

二十四日午後三時ごろ平市飯野字南白土地内をうろついている五、六才の幼児を巡廻中の平署員が発見保護した。調べたところ小松孝夫ちゃん(七つ)としか判らず同署では各署に連絡して身元を捜した結果、二十五日朝になつて磐城市下明神町三十一無職小松正治さん(四〇)の長男と判つた。しかし家には正治さんも妻のチヨさん(三八)も二十四日から行方不明で家庭の事情からの捨て子ではないかとみられている。なお孝夫ちゃんは平児童相談所に収容されている。

憩いの……
殿 堂……
(女中入用)
旅 館
翠 月
平市新田町 電332

少女など売り飛す

平署 大掛りな人売追究

売春防止法施行を前に近県の人売ルートに摘発のメスを入れた平署は、去月末から折笠保安係長の指揮で係官を茨城県に派遣、水戸市奈良屋町特飲店一福亭こと大内瑞枝(五五)方をはじめ笠間、磯原、高萩などの赤線地帯を急襲、証拠物件多数を押収するとともに職安法違反、児童福祉法違反容疑で経営者の任意出頭を求めて取調べを行つていたが、大がかりな人売事件であるとの確証をにぎつたので捜査の舞台を本県側に移し、今日二十五日は係官を若松市に派遣して最後の追込みに全力をそそいでいる。

この人売事件は二年前、茨城県磯原生れの少女A(一七)=当時十五才=が人売ブローカーの甘言に乗せられて貧しい家を飛び出して水戸市内の赤線地帯に春を沈めたほか、平市内の某女(二〇)など平附近の炭砿街から十数名の婦女子が茨城方面の特飲街に売り飛ばされていることを探知して捜査を始めたものである。その後A子さんはブローカーや経営者の玉転しにあつて茨城と福島の赤線地帯を十数回にわたつて転々と渡り歩いて幼ない身で働き続けていたもので、一両日中には石城郡の炭砿街や漁村から会津などにまたがる大がかりな人売の全容が浮かびあがるものとみられている。

ラジオ古山

磐城の防犯

弁論入賞者

磐城署主催の市内小中学校の防犯辯論大会は二十三日小名浜第一小学校講堂で開催された。成績次の通り。

▼小学の部、①竹中正夫（小名浜第一小学校六年）②小峯季（〃第二小学校六年）③笹章二（〃第一小学校六年）④猪狩俊武（〃第二小学校六年）⑤上遠野幸子（泉小学校六年）

▼中学の部、①馬目善子（泉中学校二年）②伊藤輝正（小名浜第二中学校一年）③中村のり文（泉中学校二年）④加瀬ミツエ（小名浜第一中学校二年）

▼高校の部、①高木弘夫（小名浜高校二年）

銘菓 最中 平凡

母 イク儀永らく病気療養中の処薬石効なく二月二十四日午後零時三十分遂に永眠致しました 茲に生前の御厚誼を深謝し御知らせ申上げます

追而告別式は来る二月二十六日午後一時より二時まで自宅に於て執り行います

昭和三十二年
二月二十五日

平市一丁目十一（河内屋商店）
喪主 白土ヨシミ
外 親戚一同

重傷の甲板

員一命取止

二十四日午後七時ごろ磐城市栄町毛江昭二さん所有漁船第七瑞宝丸（二一トン）の甲板員佐藤助太郎さん(三三)は、小名浜沖合十三マイル附近で操業中重傷を負い生命危篤の報を受けたので、小名浜海上保安部より巡視船「あさちどり」が市内の黒沢医師を同伴して現場に急行したが風波が高く近かよれず曳船の上午前十一所頃小名浜港に入港、手当を加えた結果生命をとり止めた。

黄色い羽根

三月一日から募金運動

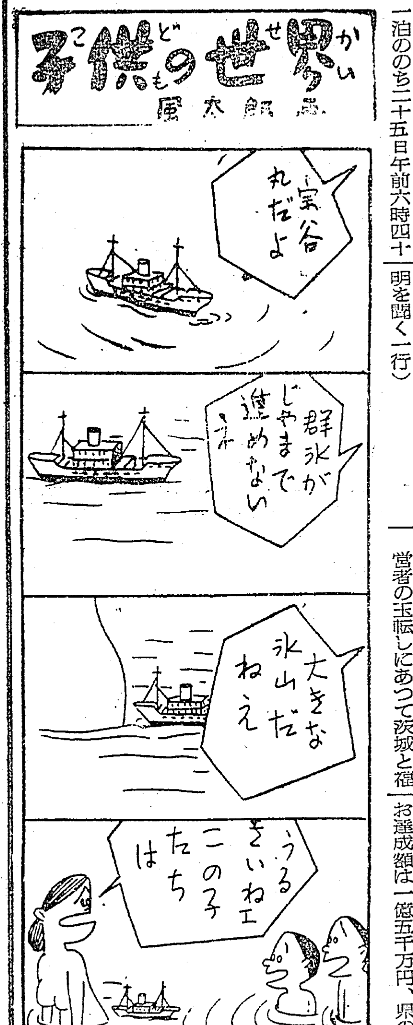
アジアに住む民族はお互に手をとつて進んで行こうと石橋湛山氏らが中心になつてアジア善隣国民運動中央本部を結成して国民の一人々々から集めた浄財をアジア各国に贈ることになつたが、石城地方でも三月一日から〝黄色い羽根〟の募金運動を行うことになつた。このため石城財務事務所では近く管内各市町村別配分委員会を開き目標を達成することになつた。なお達成額は一億五千万円、県の割当額は二百四十万円となつている。

これはアジア民族の平均所得は日本人の半分以下になつていることにビルマは四分の一にも達しないとエカフエ（国連アジア・極東経済委員会）の調査はしめしている。その上戦後十年もたつて大戦の傷手からぬけきれないアジアの国々は独立国として建設に追われながら近代国家への力強い歩みを進めているアジアの国々と何んとかして手をつなぎあい、はげましあい、助け合いたいと純真な友好善隣の気持をあらわすために国民の浄財をあつめて黄色い羽根運動を行うことになつたもの

なお第一回募金はマニラ・カソリック寺院建設援助のため、ビルマへの大仏寄贈、インドネシヤへ医療機械寄贈、セイロンの仏典編集人の協力となつているほか、我が国民に広くアジアに関する知識を普及、友好善隣に務める。

子供の世界

風太郎画


宗谷丸だよ
群氷がじゃまで進めないネ
大きな氷山だねえ
うるさいねエこの子たちは

哀愁物語
シネマスコープ総天然色
CinemaScope
ふと知りそめしかの人に愛すがるゆえに告げられぬ悲しき秘め事!!可憐な踊子ギャビネの胸に去来する哀しき愛の涙!!
レスリイ・キャロン
ジョン・カア
Gaby
MGM映画・映配提供
26日より
バルカン作戦
文部省選定
最後の橋
MARIA SCHELL
Die letzte Brücke
EIN FILM VON HELMUT KAUTNER
待望の名画いよいよ公開!!
戦争といういたましき真実にただ一度の青春を振り捨てゝ灼熱の弾丸が飛び交う戦場に散つた一女医の記録!!
カンヌ国際映画祭最優秀女優演技賞輝く
ひかり座
昭和31年度ベストテン第5位
マリア・シエル

笛の詩 6

えと文 谷田部風太郎

オホーツクの章 6

骨ばつた啓介の父の頬に、かすかなけいれんの波が浮かんだ

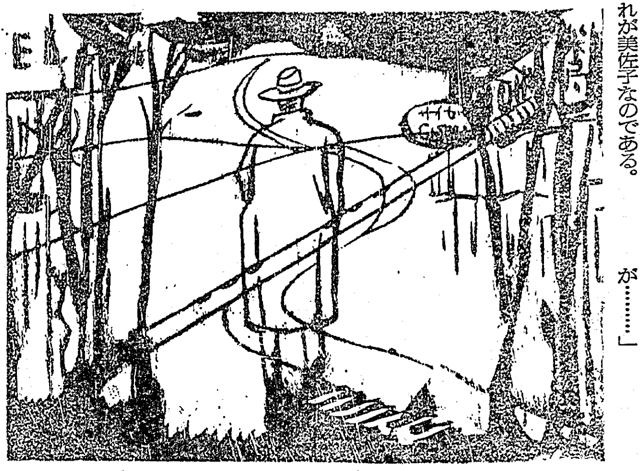
「もう解つた。……君のフリユートと静野さんの歌声が、なんだか耳の底で聞こえる様な気がするよ。君の不幸だ。いや、あるいは幸福なのかも知れんが……」

「うむ。わしにも解らん。君の様に、初めつから結婚なんてしない方が良かつたのかも知れん……」

美佐子の父下村は、本当の美佐子の父ではなかつた。下村は独身主義の変哲な人間だつた。身のまわりの世話をしている中年過ぎの婆さんがいた頃、捨て子を拾つて来て、私の子にしますと言つて育て出した。

それから五年位たつて、その婆さんは死んでしまつた。

初めはぶつぶつと口の中で文句を言つていた下村であつたが、その頃になると、何とはなしにその子供に愛情を感じてきた。そして、その子を自分の娘として入籍していたのであるが、それが美佐子なのである。



「おい。美佐子に聞えたら大変じゃないか、そんな事は言わんでくれ」

「はつははは。随分気を使うんだな。子供じゃないか」

「………」

「伜はきつと良い画をかくだろう。そうわしは信じている。それから、美佐子君だが、多分、啓介の一つ年下だつたね。わしはすべてを忘れる前に、あの二人の将来に、わしと静野のフリユートを捧げたい。親としての子供に対する唯一つ残つた夢だが……」

うむ……良いだろう。約束しよう。君がすべてを忘れ尽せるために……」

「有難う。伜は幸福だ」

農園が人の手に渡つたのも、それから一週間とはたゝないうちであつた。売却して得たほとんどの金を啓介のために与え、下村と美佐子と啓介の三人に送られて、ついぞ行先をも告げずにひよう然と去つてしまつたのであつた。

父親の物語をひそめたフリユートは、啓介の手に残つたが、その物語を知らない啓介は、唯何処へともなく行つてしまつた父親の思い出に、時々ケースを開いて見るに過ぎなかつた。毎夜、寝る時に吹いてくれた〃小夜曲〃を懐かしく耳に浮べながら。

何年かたつうちに、啓介も美佐子も、少しずつ子供の世界から離れて行つた。

その頃になつても、啓介が描き出す画のどこかには、あの血を流した山鳥の童画の何かが、滲かれた様にはなれなかつたのである。

「お兄さまの画、私とつても好きだわ。お父さまは色々言うけれど、個性とかつてものがそれぞれあるんですものね」

下村画伯が啓介に何か注意をあたえるたびに、髪を後に束ねた美佐子が、きつとそう言つて慰さめて呉れるのである。

（つづく）

お酒 一良久 平市五丁目電三二八

最優秀に大野小

全図書初めコンクール

一橋学院、日本書道奨励会主催、文部省、日本商工会議所など後援の第五回全国書初めコンクール展は二十三、四の両日東京都千代田区九段下千代田公会堂に全国の三万八千余点の作品を集め開かれた。本県からの応募者から団体賞で石城郡四倉町立大野第一小学校が昭和三十年に続いて二回目の最優秀校に選ばれたのをはじめ個人では同小六年の渡部ゆい弘君が最高賞に入選、日本商工会議所会頭賞を獲得するなどの成績をあげた石城関係の入賞者次のとおり。なお授賞式は二十四年後二時から同公会堂四階で行われた。

「国体賞」◇最優秀校＝石城郡四倉町立大野第一小学校「個人賞」◇最高賞＝四倉町大野第一小六年渡部ゆい弘◇一般の部「特選」＝四倉高校内大貫築浦、四倉町鈴木春香、同押田翠香、同吉田香蘭◇高校の部「特選」＝四倉高校鈴木敦子他二名◇中学の部「特選」＝好間中古谷小吉他三名、四倉中田中ミツ子◇小学校の部「特選」＝大野小草野節子他十名、四倉小斎藤典江ほか三名、大浦小新田一、平二小水野和子他八名、高坂小斎藤裕子他二名

ふつくらとして
やわらかに
すず印わた
平市新川町
電422
スズキ

古い炭俵を回収して

給食費に充当

磐城市小名浜第二小学校（校長高木愛治氏）ではPTAと協議の上児童を通じ炭俵の回収を企画した此れは各家庭に余り利用されずにある、木炭の古俵を回収し此れを業者に売却学校給会の内容の充実や、貧困児童の給食費未納等に充当するもので此れは一時的のものでなし永久に続けると言う。なお同校の全生徒一千七百四名中要保護四十四名の諸会費は免除してるが、準要保護児童と見られるのが九十二名あり此の未納額三万余円あり、学校教育は平等であるのたてまへからPTA会費から此れを補てんしてるので此れ等を補充するため本計がく案が出されたもので神武景気のしわよせ此処にもありと言う世相でもある。

八茎道路の開發

四倉町で県に陳情

資本金十五億円を投じて開発する八茎鉱山はいよいよ本格的な開発事業にとりかかるが、地元四倉町ではこの動脈となる玉山から八茎鉱山までの道路約十粁を舗装するため県道工事として取り上げてもらうよう二十三日吉田町長など関係者が出県陳情する。

この道路は現在林道となつているため県の補助がない、そのため八茎鉱業の開発によつて恩恵を受ける四倉町では総工費約七千万円の工事を県営事業としてやつてもらいたいというもの。

四月から開通へ

夏井農協の有線放送

平市夏井農協組（組合長稲葉要氏）では新農村建設計画の一つとして組合員農家の有線放送設備を工費三百万円（半額国庫補助）で工事中だが、三月末完成四月から開通の見込みで浜通り唯一の文化農村が出現することになつた。この有線放送は組合内に交換装置と拡声装置を置き、各農家にはスピーカー、テレホーンを設備、随時組合から各農家に対する連絡やラジオ放送を行い。この間には普通電話同様各農家間の通話なども自由に出来る便利なもので、組合と農家とは常にこの有線放送によつて密接な連絡がとられ組合運営にも大きなプラスとなるものとみられている。

この計画は新農村建設運動が起つた昨年十月からで、組合幹部は同放送施設を持つ神奈川県成瀬農協を視察、また平市農務課の協力をうけて計画を作り、部落座談会、パンフレットの配布などにより組合員の協力を求めた結果、大多数の者が賛成、組合内の農家戸数四百三戸のうち三百三十七戸が参加するという好成績を示し、昨年十二月から同市新川町の矢吹電話工業株式会社請負で工事に着工した。

電柱三百五十四本が建てられることになり、現在この工事を行つているが、この有線放送は将来普通電話との連絡通話も可能になるとの見通しのもとに電柱は直径四寸高さ六、五米から八米のものが建てられている。すでに電柱は半数余りが建てられ、また交換装置、拡声装置とは購入先の日本電気から組合に到着している加入農家の負担金は半額の国庫補助があるため一戸当り五千五百円くらいですむとのことで、農家側でも大いに歓迎している。このため組合では理事十二名、監事四名が交代で毎日一人が工事監督に出ているなど大いにはり切つている。

この有線放送の範囲は東西三・五キロ、南北二・五キロの旧夏井村全地域にわたつている。なおこの施設は農協、農家の連絡事項ばかりでなく火災や事件の発生なども直ちに全部落民に知らすことが出来るなど非常に便利なもので、家にいながらにして用事が足せるという文化農村が出現するので浜通り唯一のケースとして各農協とも注目している。

鈴木ミシン商会 平市五丁目電一〇九八

小名一小で図書を購入

磐城市小名浜一小校図書協賛会ではこのほど二十七万八千円で四千四百冊を購入した。これで同校の文庫は一万四百冊となつた。

大谷石 井上 平五電66

今晩のラジオ

◆NHK（第一）

六、〇〇 子供の時間
六、二五 次郎物語
六、四〇 スポーツ便り
六、四五 県民の時間
七、〇〇 録音ニュース
七、三〇 三つの歌
八、〇〇 お父さんはお人好し
八、三〇 私は誰でしょう
九、〇五 ニュース解説
九、一五 歌謡劇
九、三〇 民謡をたずねて
一一、一五 街頭録音

◆ラジオ福島

六、〇五 トニーの童話
六、一五 赤胴鈴之助
六、四〇 永遠に答えず
六、五〇 音楽の小箱
七、一〇 録音ニュース
七、一五 人情夜話
七、三〇 角家演芸会
八、〇〇 幸運アベツク劇場
八、三〇 歌う遊覧船
九、〇〇 ダンセット映画劇場
九、三〇 コロムビアアワー
一〇、〇五 名作アルバム
一〇、一〇 夜の案内
一〇、一五 夜の調べ
一一、〇五 時事解説

今晩の映画

▼世界館 廿六日マデ
七、三〇 関八州大利根の対決
八、五九 いとはん物語
▼ひかり座 廿五日マデ
六、三〇 特攻魚雷作戦
八、四〇 地獄の翼
▼聚楽館 廿五日マデ
六、〇〇 灰色の服を着た男
八、四〇 アレキサンダー大王
▼平館 廿六日マデ
七、〇〇 ああ軍艦旗
八、三〇 われらの皇太子さま 孤独の人
▼民劇 廿六日マデ
六、〇五 流れる
八、一七 女しゆうと共に
▼東映劇場 廿六日マデ
七、一三 らくだの馬さん
八、三〇 青雲の鬼

名物にうまいものあり!
明治大帝御大祭に献上御嘉納銘菓
登録商標
純の井
金澤屋
平市一丁目電327

石炭 コークス
火力の強い
火持の長い
カスの少い
徳用石炭
◆電話三七番・二三七番へ
一俵よりお届けいたします
平市田町 常磐炭礦販売会社

ひな人形
五十年の伝統の店
ふくたや
平市二丁目
電七四八

寒い季節は人体の休息時期です
カロリー補給も
寒さを蹴飛ばす
レストラン
パールで
カキフライ
チキンライス
パールライス
などを!!
PEARL
レストラン
パール
平市田町 電1388

日本海軍真珠湾奇襲を唯一人予想した男!!ミツチエル将軍の軍法会議!!
全米を震わしたその真相!!
ラスヴェガスで逢いましょう
ゲイリー・クーパー
チャールス・ビツクフォード
ラルフ・ベラミー
総天然色
CinemaScope
軍法会議
26日
4日
聚楽館

食肉の季節です……
良品廉売の定評ある……
綠屋の牛豚肉を
本店 平市一丁目 電五三九番
支店 平駅前甲陽館隣り 電七九四番

三馬弘進のゴム靴合羽
丸高
TEL 649